

みんなで節電に取り組みましょう！

今夏における電力需給の見通しは、大変厳しい状況にあり、昨年に比べて7%以上の節電が国より要請されています。

万が一、計画停電の事態に至った場合、市民の生活や、農業を含む産業活動等への影響は極めて大きいことから、停電という事態は何としても避けなければなりません。

このため、農作業、家畜の飼養管理の適切な実施や、農畜産物・加工品など食品の品質の維持、安全・安心の確保に影響が生じない範囲で節電に努めてください。

〈共通事項〉

- ・ 電気を使用する器具や農業機械は、定期的に清掃し、運転効率を高める。
- ・ 扇風機や換気設備等は、可能であればインバーター制御や送風効率の高いものに変更する。施設内の照明器具は、可能であればLED式や高効率蛍光灯などの省エネタイプに交換する。

〈酪農・畜産〉

- ・ 搾乳機器とバルククーラー、糞尿処理設備、換気設備等は稼働時間を分散させる。
- ・ バルククーラーの冷凍機フィン（放熱板）に詰った埃やゴミはきれいに取り除く。また、直射日光が当たらないよう注意する。
- ・ 冷凍機の周りには物を置かず、風の通りを良くする。
- ・ 電力を使わない暑熱対策として、窓を開放し畜舎内の風通しを良くするとともに、畜舎の南側に遮光ネットを設置する。

〈園芸〉

- ・ 換気扇・自動カーテン設置のハウスでは天窓・側窓での換気に努める。
- ・ 収穫・出荷調整作業は涼しい朝夕に行い、品温の上昇を抑える。
- ・ 出荷調整作業施設の照明は最小限にとどめ、採光や通風を改善する。
- ・ 予冷・集出荷施設は、冷気が全体に行きわたるよう庫内を整理するとともに、出入口にカーテンをし、扉の開閉は最小限にする。

節電の期間と時間

平成24年7月23日（月）～9月14日（金）の平日午前9時から午後8時（37日間）

注1）9月10日（月）～14日（金）は、午後5時から午後8時

注2）お盆期間（8月13日～15日）を除く

問い合わせ先

札幌市農業支援センター
北海道食の安全推進局技術普及課

Tel.787-2220
Tel.231-4111
(内線27-823)